

長野県少年女子 国体選手選考基準

令和4年4月1日現在

長野県ソフトボール協会少年女子の国民体育大会における選手の選考基準を以下のとおり定める。

【基本原則】

北信越国体において活躍し、本国体出場に貢献することができる選手を選考する。

【選考の基準と方法】

1. 国民体育大会出場資格を有している選手を選考対象とする。
2. 協会は、国民体育大会に向けた選手選考会を年に複数回開催する。選考会は高体連ソフトボール専門部において日程調整を行い、実施運営を行う。参加希望者は随時受け付けるものとする。
3. 選抜チームの監督は前年度県新人戦で優勝したチームの監督とする。資格などの条件や、やむを得ない事情で監督が出来ない場合は、高体連ソフトボール専門部と協会国体対策プロジェクト委員会において協議して決める。
4. 選考会では、一般的な練習の他、試合形式の練習を行い、選手個々の能力を評価する。

ソフトボールの特性から、数値などの客観的基準を設定することは難しいが、およその目安としては以下の目標値を定める。

【投手】

- ① ファストボールの平均球速が 85 km以上あること。
- ② 縦の変化球（ライズボールまたはドロップボール）を有する。
- ③ 球速の変化球（チェンジアップ）を有する。

*原則、投手は上記①～③の条件を満たしていること。ただし、打者を

打ち取ることのできる「球種」ならびに「投球術」があると認められる場合はこの限りとしない。

【捕手】

①二塁送球 1.85 秒以内 (捕手捕球→送球→二塁捕球の一連タイム)

*捕手は①および野手全般の条件を満たしていること。

【野手】

①30m走 4.95 秒以内

② 塁間走 3.20 秒以内

③遠投距離 45m以上 (半径 1 mの円内から送球)

*野手は上記①～③の条件を満たし、守備力・打撃力において長野県代表としてふさわしい技能を有している者。

5. 選手の選考はこの他に、全国高等学校選抜大会及び全国高等学校選手権大会に関わる公式戦の成績も加味し、選抜チームの戦略及び戦術によるチーム構成等総合的に判断する。

6. 監督は、選考の結果を選手の所属チームの監督を通して選手に通知し、(内定者・決定者のみ) 協会は、選任した監督及び選考した選手に長野県(監督・選手)指定書を交付し、協会のホームページ及び広報誌(ソフトボール長野)を通して公開する。

7. 協会は、選考の基準と方法について変更が生じた場合は、協会のホームページ及び広報誌(ソフトボール長野)に公開すると共に、登録チームに通知する。

【確認事項・その他】

選任された監督及び選考された選手には、当該年度を通して長野県代表であることを自覚した行動を求め、選考以後の国体強化練習、強化試合、レベルアップのための研修会や講習会に参加する。これに参加しない選手は内定(決定)を変更する場合もある。